

長い独裁体制が終わった中東シリア。いま、故郷を離れた約500万人の難民が次々と帰還し、新しい国づくりが始まっています。

長期にわたりシリア取材してきたドキュメンタリーフォトグラファー・小松由佳さんが、歴史の激動の地で生きる人々の物語を語ります。

アサド政権崩壊後、13年ぶりに故郷に帰還したシリア難民の男性
2024年12月、シリア・パルミラ

The Homeland

～故郷に帰還するシリア難民～

国際社会学・社会学概説特別講義
Global Seminar Series No.5

ドキュメンタリーフォトグラファー

小松由佳

7/15 (火)

麗澤大学 入場無料
校舎「さつき」iArena



小松由佳 (こまつ・ゆか)
1982年秋田県生まれ。幼少時より山に魅せられ、2006年、世界第二の高峰K2(8611M/パキスタン)登頂。植村直己冒険賞受賞。次第に風土に根ざした人間の営みに惹かれ、写真家に転向。2012年からシリア内戦・難民取材。著書に『人間の土地へ』(集英社インターナショナル)。第8回山本美香記念国際ジャーナリスト賞受賞。

◎タイムテーブル

14:30

開場

15:00-16:40

第1部 山を越えて、生きる道へ

16:50-18:30

第2部 レンズ越しに見るシリア

◎主催

麗澤大学 国際交流センター
センター長：黒須里美
副センター長：河野YOH

◎協力

株式会社C's CREATIVE

◎後援 麗大麗澤会